

受けよう！がん検診

がんは、日本人の死亡原因の第1位です。しかし、医療技術も進歩し、早期発見することで治ることが可能にもなっています。がんから身を守るために、定期的ながん検診を受けましょう

●日本で1年間にがんが原因でなくなる人の数は？

37万人



●日本人が生涯でがんにかかる割合は？

2人に1人



●がん検診を受けることがどうして重要なのか？



がんになっても、初期の段階では殆ど自覚症状がありません。しかし、症状がなくても、がんは少しずつ身体を蝕み、自覚症状があらわれたときには、既に命の危険にさらされていることも少なくありません。治療が十分に可能な段階でがんを発見することが最も重要だからです。

《厚生労働省が推奨しているがん検診》

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
対象者	50歳*以上の男女 <small>※胃部エックス線検査については、40歳以上で実施可能</small>	40歳以上の男女	40歳以上の男女	20歳以上の女性	40歳以上の女性
検査方法	●胃部エックス線検査 または 胃内視鏡検査	●胸部エックス線検査 ●喀痰細胞診 (医師の判断による)	●便潜血検査	●視診 ●内診 ●子宮細胞診	●マンモグラフィ

がんを防ぐための新12か条

がんを予防するためには、日常の生活習慣が大切とされています。
がんを防ぐために、12か条を心掛けましょう！

1条

たばこは
吸わない



2条

他人の
たばこの
煙を避ける



3条

お酒は
ほどほどに



4条

バランスの
取れた
食生活を



5条

塩辛い食品
は控えめに



6条

野菜や果物は
不足にならない
ように



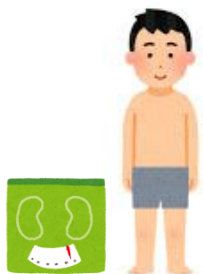
7条

適度に
運動



8条

適切な
体重維持



9条

ウィルスや
細菌の感染
予防と治療



10条

定期的な
がん検診を



11条

身体の異常に
気がいたら
すぐに受診を



12条

正しい
がん情報で
がんを知る
ことから

